

「武蔵丘品質」「武蔵丘プライド」
～平成23年度第二学期始業式あいさつ～

夏休み中、講習や部活動で頑張ったという報告をたくさん耳にしました。充実した夏休みを過ごせたでしょうか。そして今日、全員が無事に顔を合わせることができて本当によかったとの思いです。

さて、一昨日の8月30日、東京理科大学の学長の藤嶋昭先生を高橋副校長先生と一緒に大学に訪ね、1時間ほどお話する機会を得ました。

藤嶋先生は、酸化チタンという物質に光を当てると水が分解されるという性質、「光触媒」と呼ばれるこの効果を発見し、ノーベル賞に一番近い日本人研究者の一人と言われる方です。その研究は、日本オリジナルの技術として多方面に活用されています。例えば表面にコーティングすると水や汚れが付きにくくなるということも分かり、自動車のサイドミラーやトイレの便器にも応用されているというのを初めて知りました。将来は水を原料にして水素を取り出し、石油や原子力に頼らないエネルギー源としても注目を集めています。

しかも光触媒という狭い専門分野に限らず、興味関心が実に広い方でした。別れ際に本をプレゼントしてくださったのですが、その本は、「時代を変えた科学者の名言」という本でした。また、朝顔が一日のうちのいつ咲くかという話も興味深い話でした。朝顔は明るくなるとそれを感知して花を咲かせると思い込んでいましたが、全く違って暗くなってから9～10時間ほど時間たってから咲くのだそうです。

また、理科の教育には特に力を入れている先生で、幼稚園児から高校生までを対象に講演会を開いているそうです。早速、12月21日に、本校にお招きして授業をしてくださいとお願いしたところ快く受けてくださいました。期待しててください。

藤嶋先生とお会いできたのは、同窓生の佐野さんという方がなかだちしてくださったからです。佐野さんは、同窓会やPTAの会長も務めた方で、陸上部のOBなので陸上部の諸君はよく知っていると思います。それにしても本校の同窓生には、後輩のため、母校のために力を尽くしたいという方が大勢いらっしゃいます。部活動の夏合宿に対して資金面で援助してくださっているのも同窓会の方々です。今度の武高祭ではお餅をついてふるまってくださいます。

これを当たり前だと思ったらバチが当たります。同窓会の皆さんにお会いしたら、「こんにちは」という挨拶に加えて、「いつもお世話になります」というお礼を忘れないでください。そして、己の利害を超えて、後輩のため、母校のため、さらに世のため、人のために力をつくす・・・この武蔵丘の校風をぜひ繋いで行ってください。

理科大を訪ねたその夜、直木賞を受賞した「下町ロケット」という本を、一気に読みきりました。皆さんの中にもすでに読んだ人がいるかもしれません。

研究者としてロケット開発に従事していた主人公の佃航平が、打ち上げ失敗の責任をとり、研究者をやめて、資本金3千万の町工場の社長を継ぐわけです。まさに若く

しての挫折です。信頼していた上司も手のひらを返したように裏切っていく、それでも彼は夢を諦めなかったのです。

腕の良い優れた熟練工の力を結集してロケットのエンジンの要となる部品の特許技術を見事にとってしまうのです。それに遅れをとった大企業の「帝国重工」という会社との間で息詰まるガチンコ勝負が繰り広げられ、「佃製作所」はぎりぎりまで追い詰められていきます。社内には帝国重工に妥協する空気が流れて崩れそうになるのですが、最後には、町工場で技術を磨いてきた工員たちの技術とそれに裏付けられたプライドが社員を結束させ、大きな企業を圧倒し、町工場が創った部品を搭載したロケットの打ち上げが成功するというストーリーです。

私は、この中ででてくる佃製作所の社員を結束させた「佃品質」「佃プライド」という言葉がとても気に入りました。

会社の、工場のどこをとっても、造る製品も、財務の体質も、細かな塵一つも見逃さない整った工場も、仕事へ取り組む姿勢も、どこをとっても絶対に手を抜かない、どこにも負けない最高のクオリティを追求する「佃品質」「佃プライド」なんです。

この夏、進路実現に向けてこれまでのどの学年にも増して頑張る3年生の姿がありました。私立の強い相手に屈することなく終了週1分前にゴールを上げて勝利した部活がありました。ブロックで優勝し、コンクールに出場して最高のパフォーマンスを披露し感動の涙を流した部活がありました。人知れず、サブグラウンドの草取りに汗を流すマネージャーの姿がありました。私はこうした姿の中に「武蔵丘品質」「武蔵丘プライド」を見て取ります。

同時に発展途上であることも実感します。品質とプライドは、一点でも曇があると成立しません。例えば最近とても気になるのは、汗拭きペーパーがポイ捨てされていたりします。すると、たったそれだけで、それはほんの一部の人かもしれませんが、全体の品質を決定付けてしまい、プライドは崩れます。

一点の曇もない品質とプライド、それが求められる段階に武蔵丘は来ているのです。8月30日、神奈川県創立90周年の伝統校である厨子高校の先生方が、本校の教育課程や取組みをぜひ参考にしたいということで視察に来られました。また、この夏の学校見学会では、昨年度よりも300名多い1540名の中学生と保護者の皆さんが来校されました。私たちの予測を超えて武蔵丘への期待と注目度が急上昇していることを実感します。当事者である自分たち自身がそれに気づかないと大変なことになります。

「下町ロケット」は、うちの図書館にももうすぐ入るそうです。ぜひ読んで自らの生き方に生かしてください。

さぁいよいよ二学期です。日々の学びがあります。進路実現への飛躍の時でもある。そして文化祭が、部活動があります。一人ひとりの意地とプライドをかけて全力を尽くし、「武蔵丘品質」「武蔵丘プライド」を実現してください。期待しています。

以上